

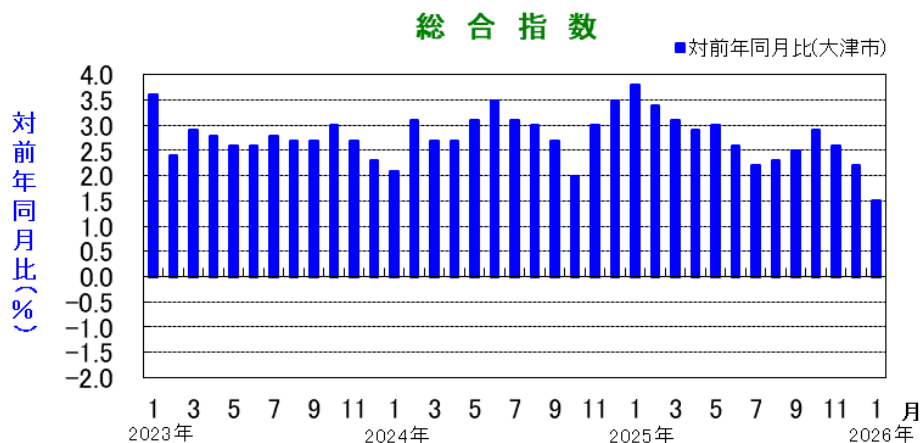
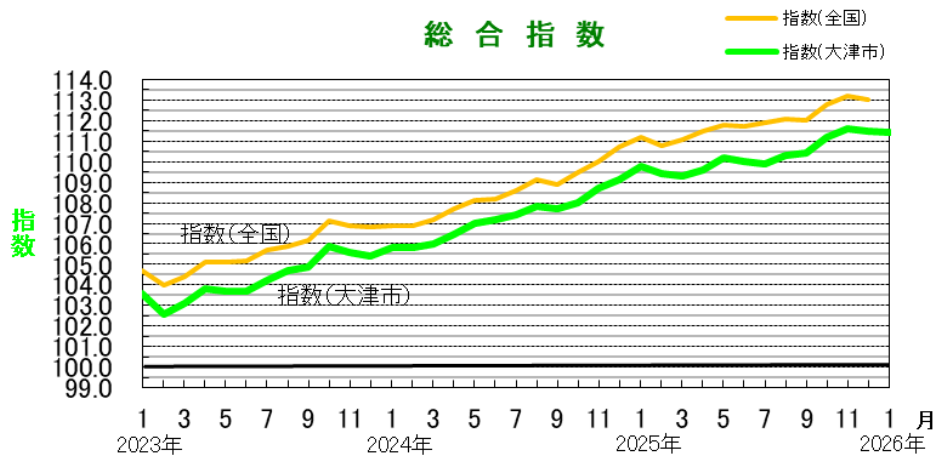
2020年基準 消費者物価指数（大津市） 2026年（令和8年）1月分

（令和8年2月20日公表）

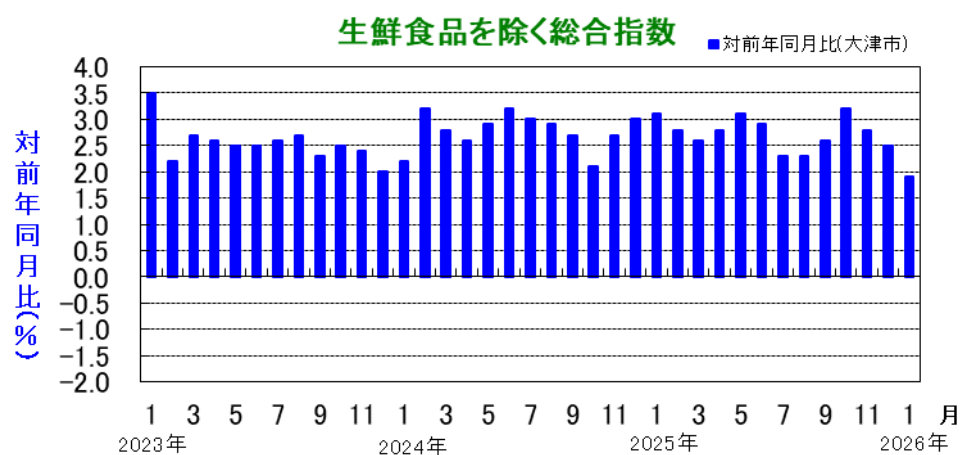
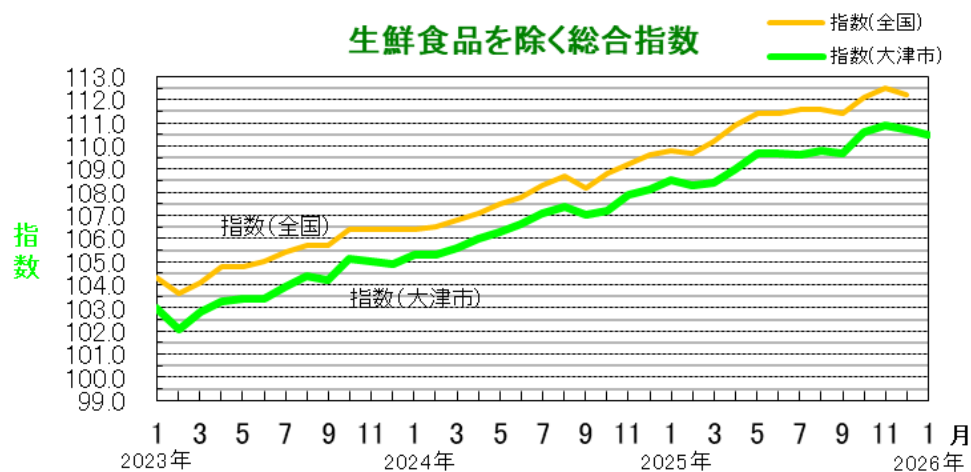
1. 2026年（令和8年）1月分消費者物価指数（大津市）概況

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)	概 況
総合指数	111.4	-0.1	1.5	前月比は2か月連続で下落した。 前年同月比は51か月連続で上昇した。
生鮮食品を除く 総合指数	110.5	-0.2	1.9	前月比は2か月連続で下落した。 前年同月比は51か月連続で上昇した。
生鮮食品及び エネルギーを除く 総合指数	110.2	-0.1	2.4	前月比は下落に転じた。 前年同月比は46か月連続で上昇した。

2. 総合指数と対前年同月比の推移

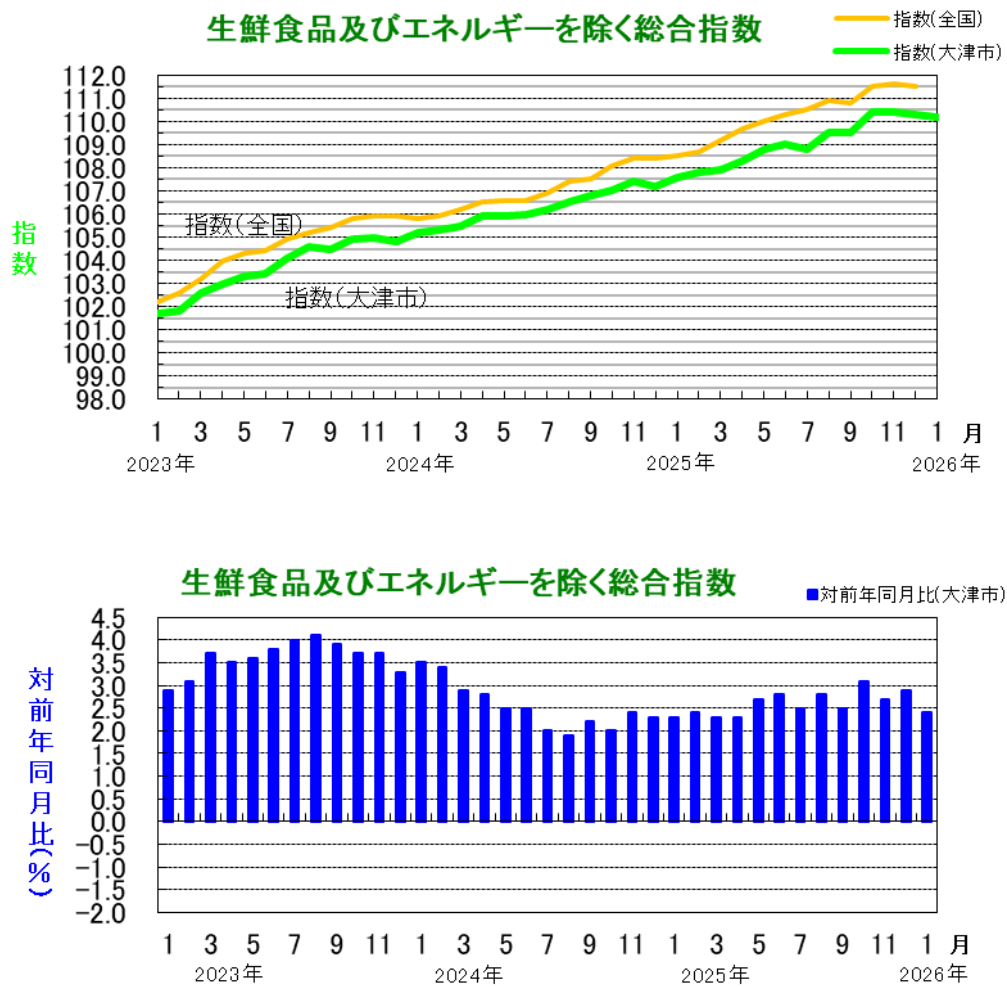


3. 生鮮食品を除く総合指数と対前年同月比の推移



※「生鮮食品」…生鮮魚介・生鮮野菜・生鮮果物

4. 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数と対前年同月比の推移



※「エネルギー」…電気代、都市ガス代、プロパンガス、灯油、ガソリン

☆全国における消費者物価指数の概況は総務省統計局のHPにより公表されています。

総務省統計局消費者物価指数（全国）→ <https://www.stat.go.jp/data/cpi/>

5. 10大費目指数と前月・前年同月比および寄与度

2020年=100

区 分	指 数	対前月		対前年同月	
		上昇率(%)	寄与度	上昇率(%)	寄与度
食 料	126.8	0.4	0.11	3.0	0.92
住 居	103.9	0.2	0.03	0.5	0.09
光 熱 ・ 水 道	110.9	0.2	0.01	-0.7	-0.05
家具・家事用品	112.9	-2.5	-0.10	0.5	0.02
被服及び履物	108.7	-1.0	-0.04	-0.4	-0.02
保 健 医 療	103.3	-0.9	-0.04	0.7	0.03
交 通 ・ 通 信	100.7	-0.1	-0.02	2.0	0.29
教 育	95.0	0.0	0.00	-6.0	-0.19
教 養 娛 楽	113.8	-0.8	-0.09	2.7	0.27
諸 雑 費	108.4	1.0	0.06	2.2	0.13

*寄与度：総合指数の上昇に対して各費目がどれだけ影響したかを示します。

6. 前月との比較

総合指数は111.4で、前月と比べて0.1%下落しました。中分類指数の主な項目をみると、教養娯楽用品（3.3%）、生鮮野菜（2.6%）等が上昇し、教養娯楽サービス（-2.5%）、家庭用耐久財（-5.7%）等が下落しました。

生鮮食品を除く総合指数は110.5で、前月と比べて0.2%下落しました。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は110.2で、前月と比べて0.1%下落しました。

● 上昇した中分類指数の主な項目（寄与度順）

教養娯楽用品〔教養娯楽〕	(+)	3.3%
生鮮野菜〔食料〕	(+)	2.6%
穀類〔食料〕	(+)	1.9%

● 下落した中分類指数の主な項目（寄与度順）

教養娯楽サービス〔教養娯楽〕	(-)	2.5%
家庭用耐久財〔家具・家事用品〕	(-)	5.7%
肉類〔食料〕	(-)	2.2%

注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の対前月比が比較的大きな項目のみを掲載しています。〔 〕内は、10大費目名です。

注) 生鮮食品（生鮮魚介・生鮮野菜・生鮮果物）については、小分類指数です。

7. 前年同月との比較

総合指数は、前年同月と比べて1.5%上昇しました。中分類指数の主な項目をみると、穀類（14.0%）、生鮮魚介（20.0%）等が上昇し、生鮮野菜（-13.1%）、生鮮果物（-15.3%）等が下落しました。

生鮮食品を除く総合指数は、前年同月と比べて1.9%上昇しました。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は、前年同月と比べて2.4%上昇しました。

● 上昇した中分類指数の主な項目（寄与度順）

穀類〔食料〕	(+)	14.0%
生鮮魚介〔食料〕	(+)	20.0%
菓子類〔食料〕	(+)	6.5%
外食〔食料〕	(+)	3.7%
通信〔交通・通信〕	(+)	6.7%
調理食品〔食料〕	(+)	4.9%
飲料〔食料〕	(+)	10.3%
教養娯楽用品〔教養娯楽〕	(+)	8.1%
交通〔交通・通信〕	(+)	6.4%
教養娯楽サービス〔教養娯楽〕	(+)	1.9%
医薬品・健康保持用摂取品〔保健医療〕	(+)	6.5%
酒類〔食料〕	(+)	6.4%
身の回り用品〔諸雑費〕	(+)	9.0%
設備修繕・維持〔住居〕	(+)	1.7%

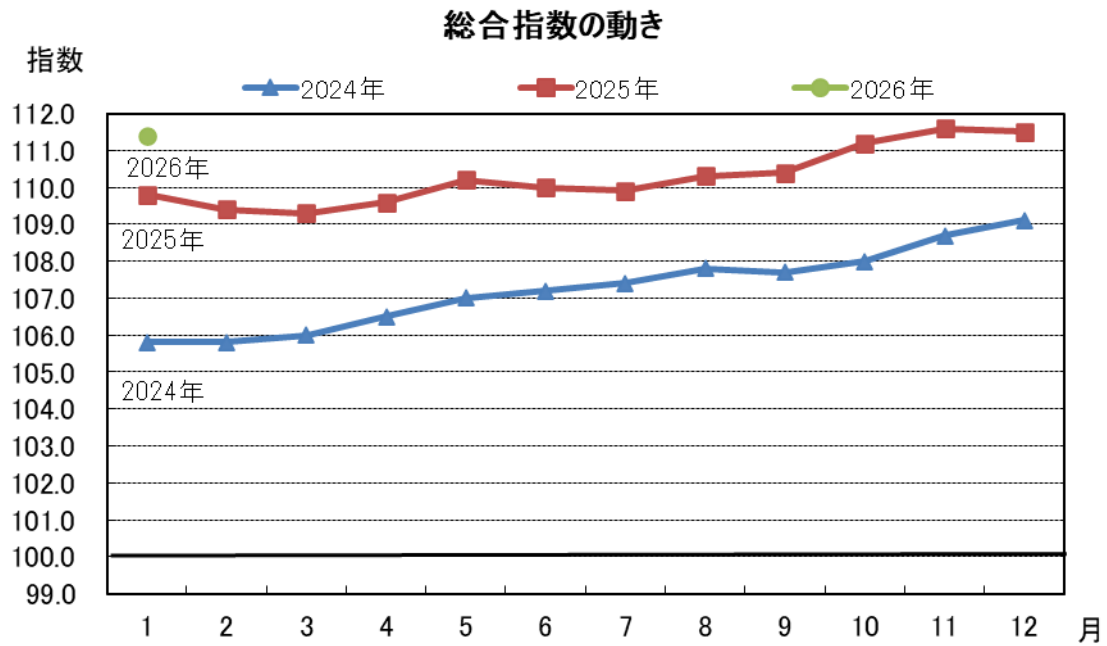
● 下落した中分類指数の主な項目（寄与度順）

生鮮野菜〔食料〕	(-)	13.1%
生鮮果物〔食料〕	(-)	15.3%
授業料等〔教育〕	(-)	8.6%
肉類〔食料〕	(-)	3.7%
家庭用耐久財〔家具・家事用品〕	(-)	4.6%
ガス代〔光熱・水道〕	(-)	4.2%

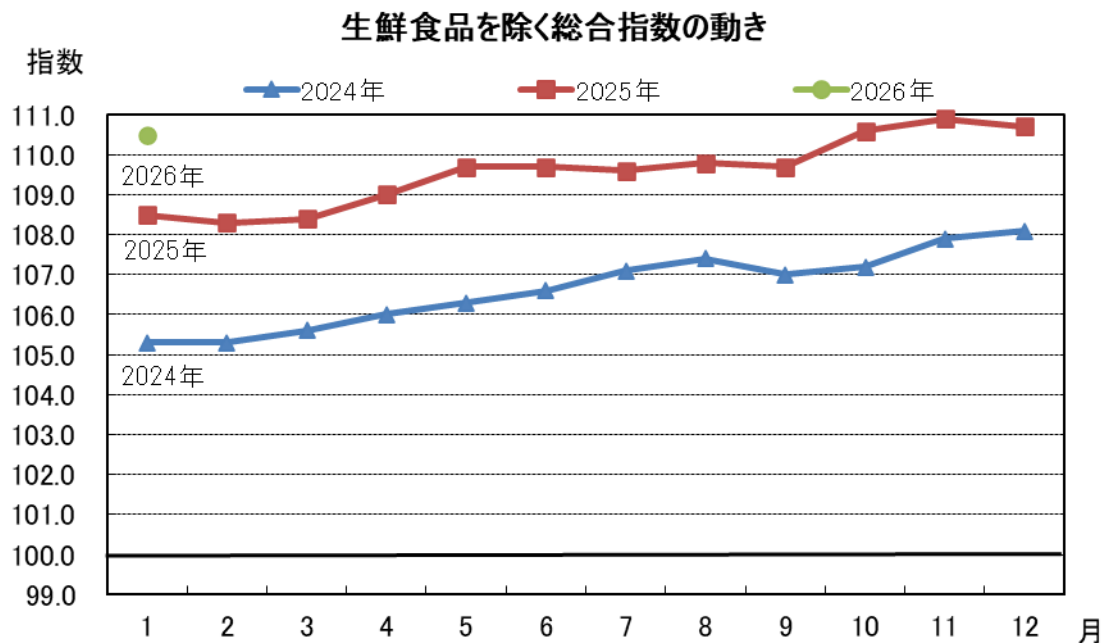
注) 中分類指数の項目のうち、寄与度および各指数の対前年同月比が比較的大きな項目のみを掲載しています。[] 内は、10大費目名です。

注) 生鮮食品（生鮮魚介・生鮮野菜・生鮮果物）については、小分類指数です。

8. 総合指数別の年度比較

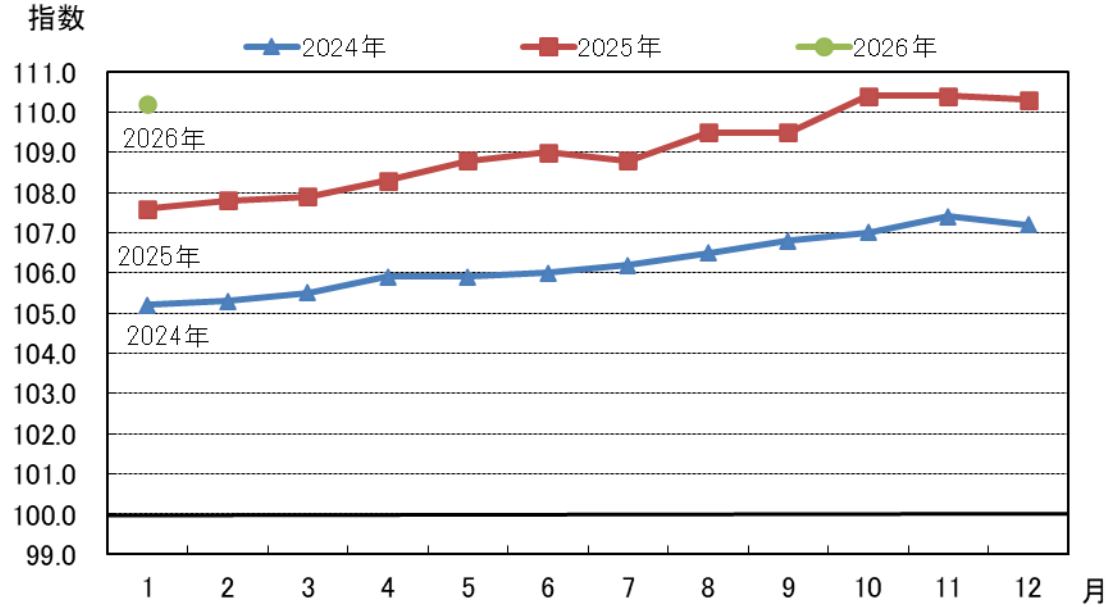


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	105.8	105.8	106.0	106.5	107.0	107.2	107.4	107.8	107.7	108.0	108.7	109.1
2025年	109.8	109.4	109.3	109.6	110.2	110.0	109.9	110.3	110.4	111.2	111.6	111.5
2026年	111.4											



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	105.3	105.3	105.6	106.0	106.3	106.6	107.1	107.4	107.0	107.2	107.9	108.1
2025年	108.5	108.3	108.4	109.0	109.7	109.7	109.6	109.8	109.7	110.6	110.9	110.7
2026年	110.5											

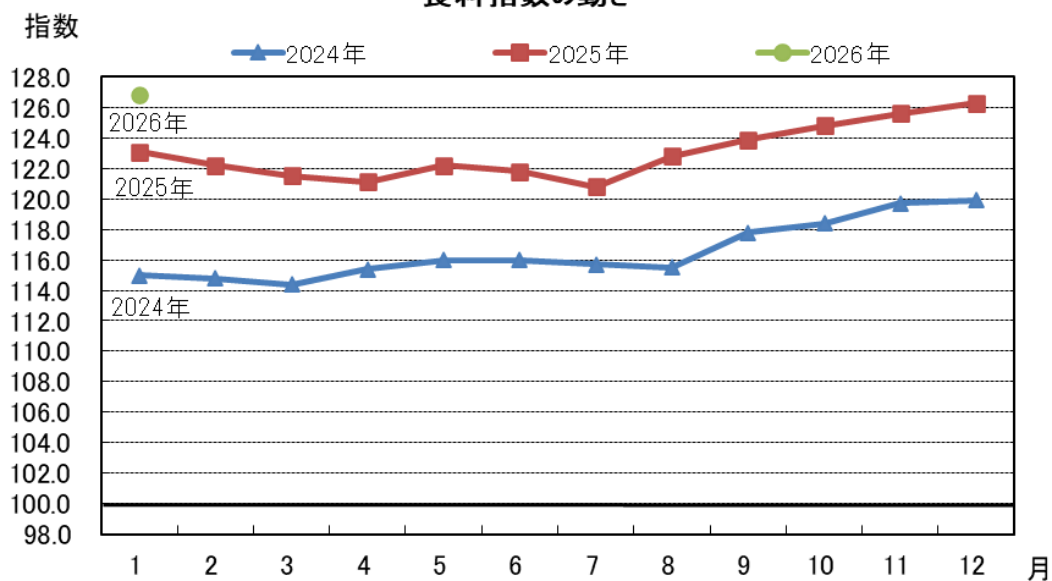
生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



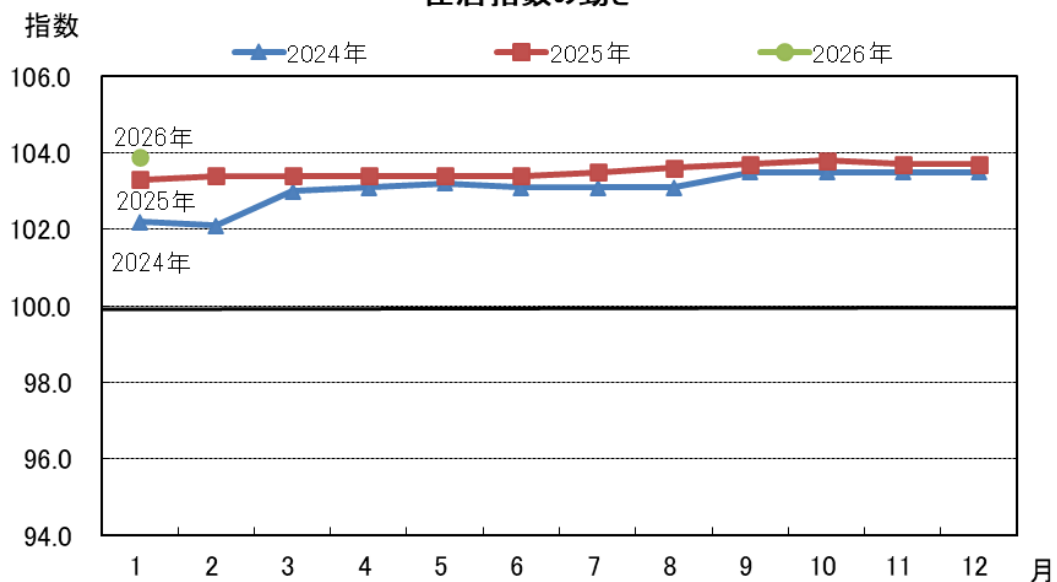
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2024年	105.2	105.3	105.5	105.9	105.9	106.0	106.2	106.5	106.8	107.0	107.4	107.2
2025年	107.6	107.8	107.9	108.3	108.8	109.0	108.8	109.5	109.5	110.4	110.4	110.3
2026年	110.2											

9. 10大費目別の年度比較

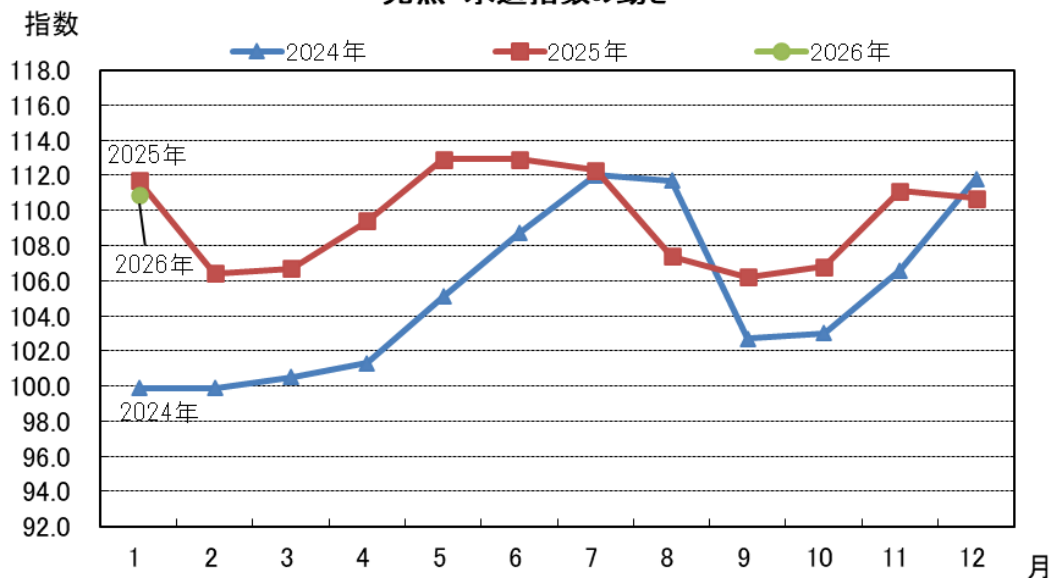
食料指数の動き



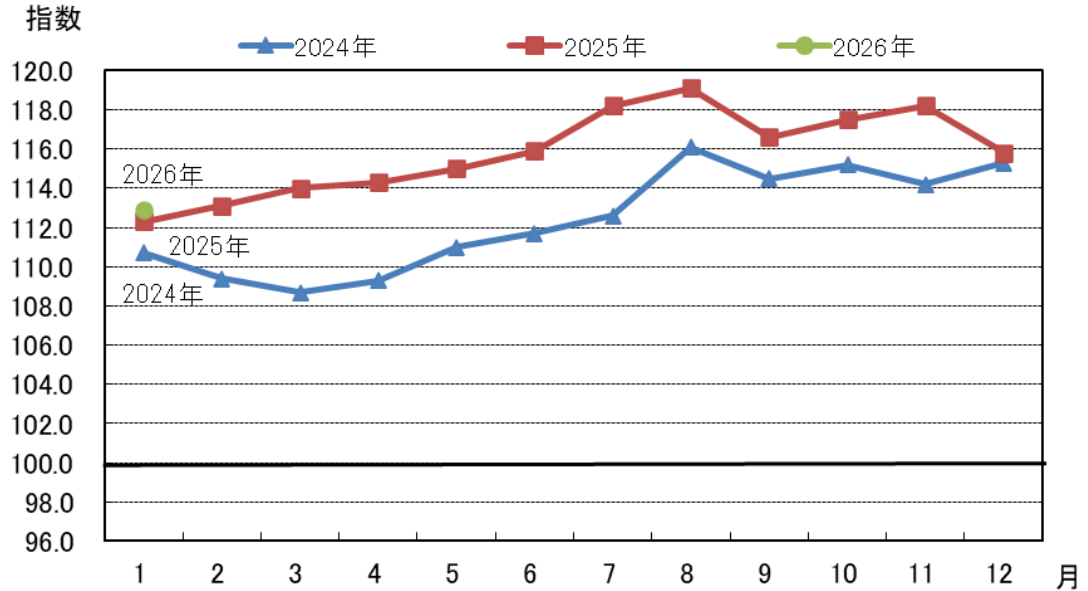
住居指数の動き



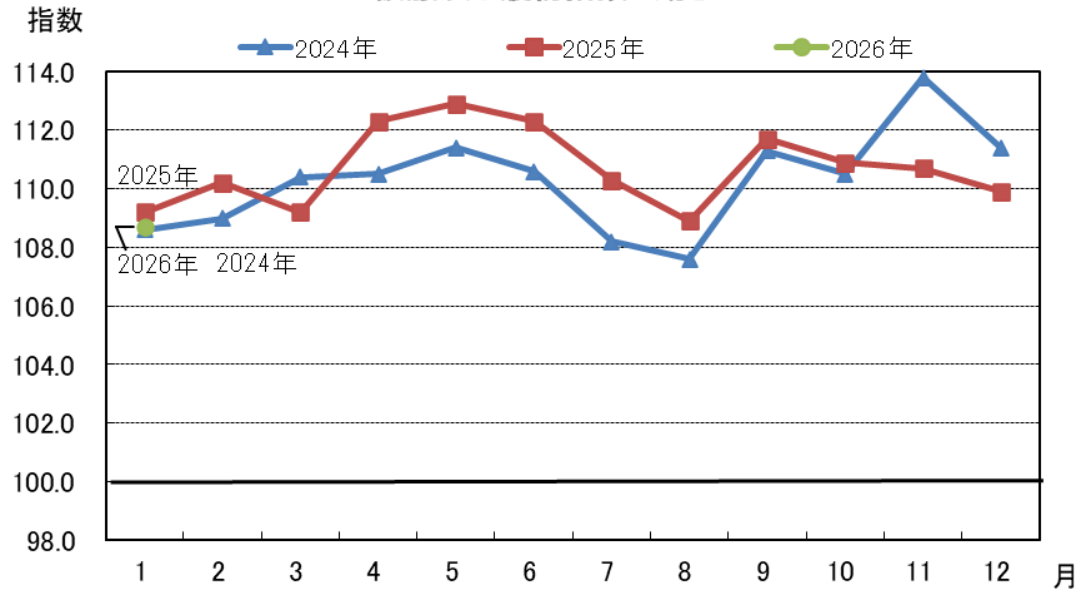
光熱・水道指数の動き



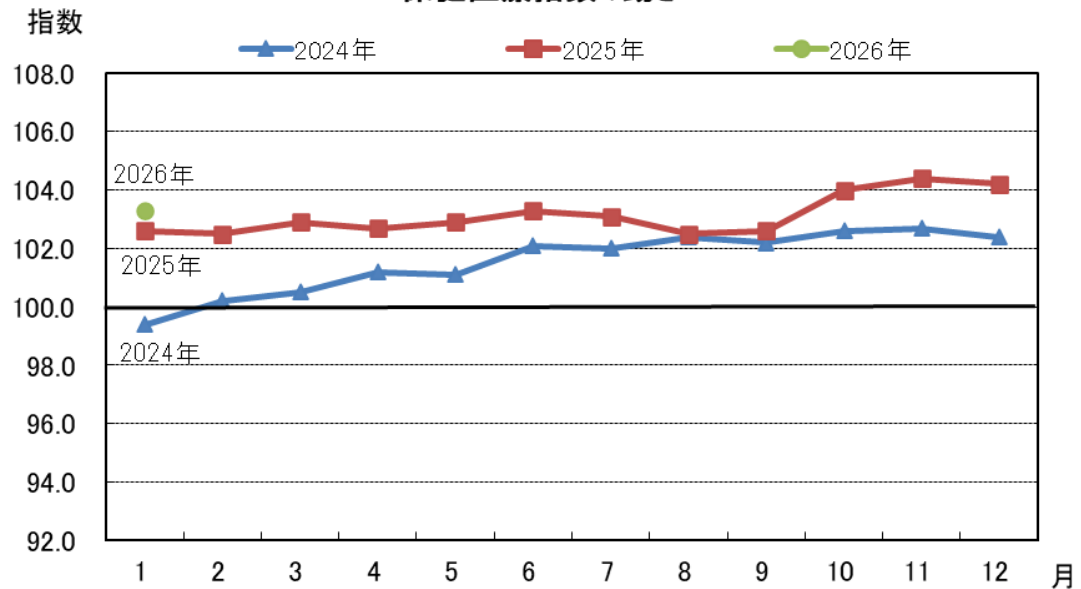
家具・家事用品指数の動き



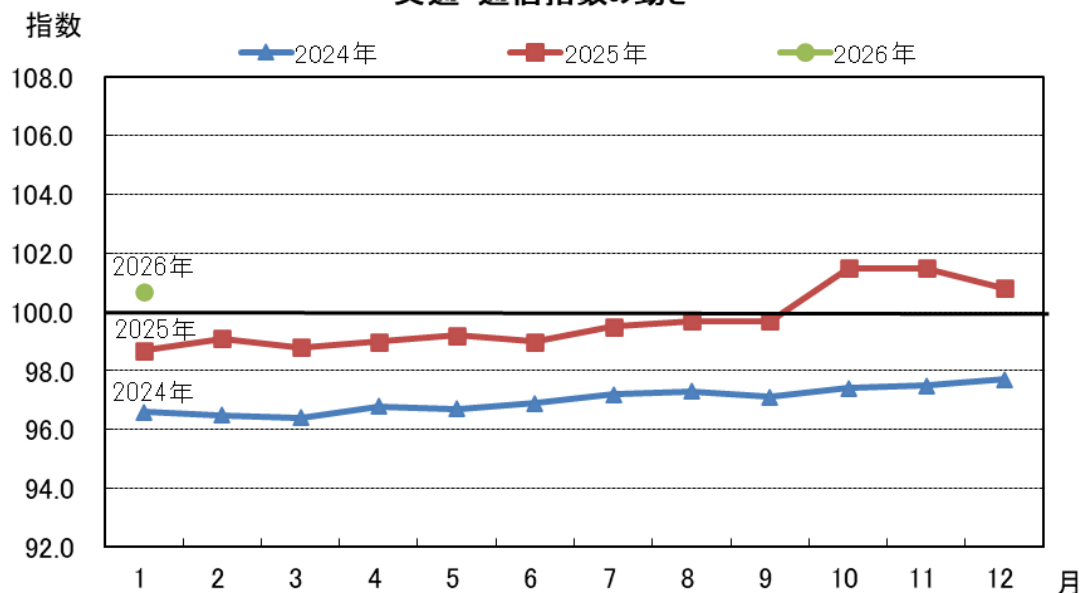
被服及び履物指数の動き



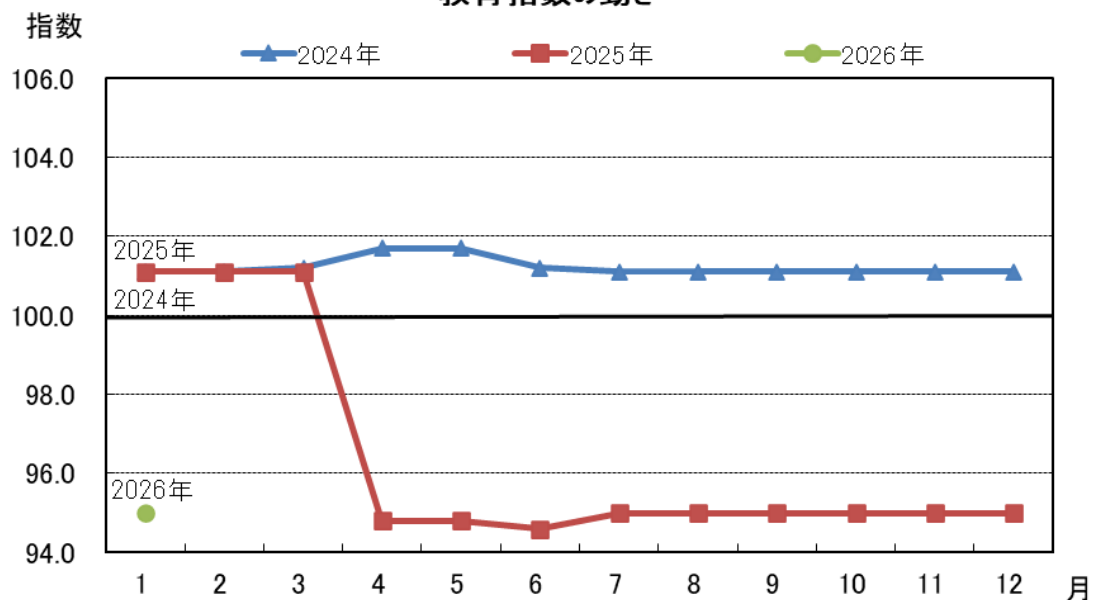
保健医療指数の動き



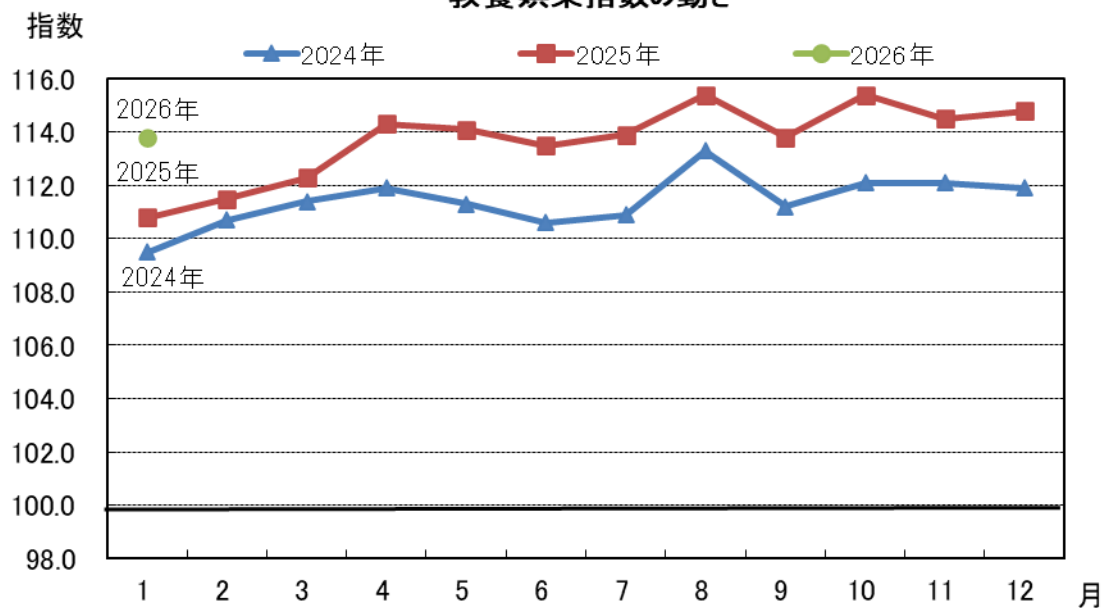
交通・通信指数の動き

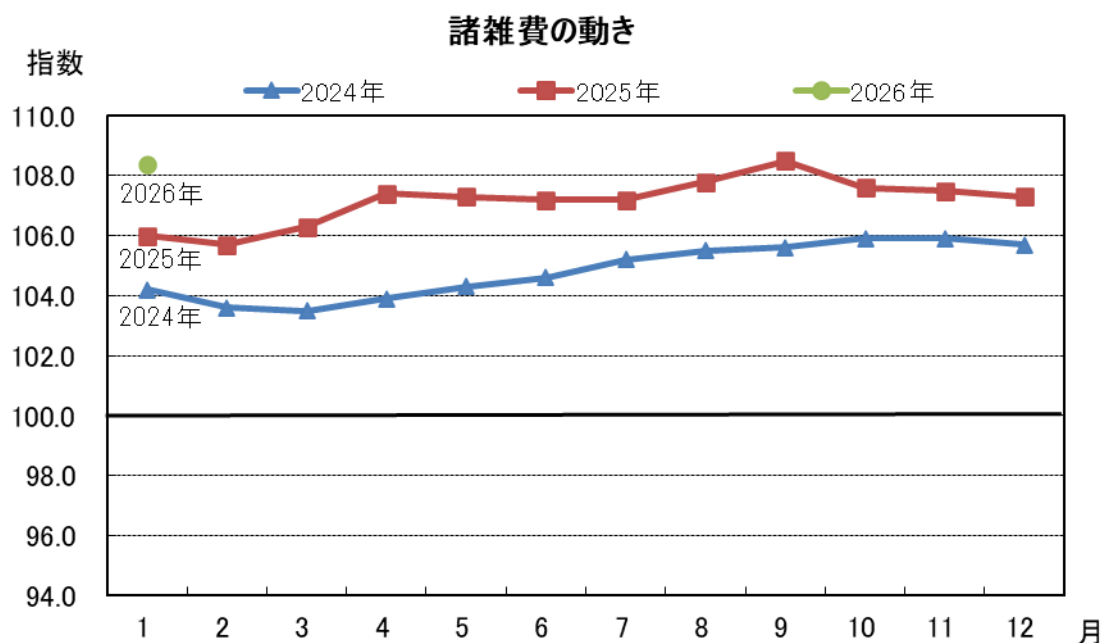


教育指数の動き



教養娯楽指数の動き





【参考】

消費者物価指数とは

消費者物価指数は、日常生活で私たち消費者が購入する各種商品（財やサービス）の価格の動きを総合し、平均的な物価の動きをみるために作られるもので、国民の消費生活にとって最も身近な指数です。日常購入する食料品、衣料品、電気製品、医薬・化粧品などの財の価格のほかに、授業料や家賃、理髪料、バス代などのようなサービスの価格の動きも含まれます。

10大費目とは

指数計算に採用する品目は、世帯が購入する多数の財・サービス全体の物価変動を代表できるように、家計の消費支出の中で重要度が高いこと、価格変動の面で代表性があること、さらに、継続調査が可能であること等の観点から選定された581品目に、持家の帰属家賃1品目を加えた582品目です。これらを大分類したものが10大費目です。

この資料は総務省統計局が作成、公表している全国の消費者物価指数のうち、大津市の消費者物価指数についてまとめたものです。

【次回資料提供予定】 令和8年(2026年)3月24日(火) 午前10時